



5月30日 女性部の園芸グループ4名により、今年設けました本所事務所前の花壇に4種類の花の苗とヒマワリの種を植えて頂きました。当日は生憎の雨模様の寒空でしたが、園芸グループの皆さんは普段の手慣れた作業で約100株の苗を手際よく植え午前中で作業を終えることができました。これから秋まで見事な花が鑑賞できますので、組合員の皆様も是非ご覧に来てください。園芸グループの皆様、お忙しい中ありがとうございました。

- 第15回通常総会開催
- 各団体総会開催
- 中山間枝幸集落全体会議
- 巡回ドック検診
- 春の廃フラ回収
- 道北フラック&ホワイトショウ
- 枝幸町家畜自衛防疫組合研修会
- JA青年部主催合同勉強会
- 第2回・3回理事会議案等

- JAグループ北海道農政活動強化に向けて(第1回・第2回)
- 事務所1階満開の桜
- 枝幸町公共育成牧場一斉入牧
- JAの存在意義を考えるシリーズ
- コンプライアンス研修終了
- 農業新聞購読料の改定のお知らせ
- 牧草収穫作業風景
- JAバンク年金サンクスプレゼント

J A 宗谷南第15回通常総会開催

※出席正組合員数111名

本人出席37名 委任状出席12名 書面出席62名



令和6年5月24日、枝幸町中央コミュニティセンターにて第15回通常総会が開催されました。

次第により物故者への黙祷から次にJA綱領、各贈呈者表彰になり、新規就農者として辻野倫太郎さん、就農後継者として佐々木捷さん、澤田弥飛さんの名前を読み上げ、JAグループ連合会を代表して、北海道信連旭川支所の姉崎支所長より激励状が贈呈されました。

また、就農後継者の開地希望さんには、乳牛購入費用として100万円の目録が向井地組合長より手渡されました。

総会開始に先立ち、向井地組合長よりここ数年コロナ禍と共に緊迫した世界情勢の中、酪農情勢に関しても非常に厳しい状況が続いていましたが、何とかここに至り昇り始め明るさが少しずつではあるが、戻りつつあると述べ、この厳しい酪農情勢へ新規就農や後継者としての道を選択した本日表彰された方々には心より敬意と感謝を申し上げたいとも述べた。

令和5年度の決算については、前年並みの剰余金を計上出来たのも組合員皆さまの努力の賜物であり、厳しい酪農情勢により枝幸町より多額の緊急対策支援も頂いたことも踏まえ、JAからも12月に35万円の緊急対策を行い、今回の剰余金処分案において3550万円の配当を提案致したいとし、合わせて7千万円を配分することになりましたと述べられました。

一〇二数年は、離農件数も増加傾向にありJAの生命線である生乳生産量が減少している状況下にあることは現実であり、JAの身の丈にあった運営が急務であるため、令和5年度末をもって歌登支所の閉鎖を余儀なくされ組合員皆様のご理解に感謝申し上げます。

組合員皆様には、組合員数の減少により負担を増やすわけには行きませんが、今後の課題とされている不採算部門については、効率化を図りながら取り組みを前向きに強化していきますので特段なるご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

続いて来賓の方々より祝辞を頂き、来賓紹介、祝電披露となりました。



来賓の皆様

祝辞(右上時計回)

- | | |
|--------|--------|
| 武部議員秘書 | 佐藤 愛 様 |
| 宗谷振興局 | 西野部長 様 |
| 中央会旭川 | 林支所長 様 |
| 枝幸町 | 村上町長 様 |



続いて組合長が仮議長となり議長選出方法を諮り、仮議長一任の声により歌登東歌登の重松良平氏を議長に指名し選出され議案の審議が始まりました。

本総会の審議は9議案となっており、議案第1号の定款の一部変更について「から始まり最後議案第9号 役員候補欠選任について」まで全議案賛成多数により可決されました。

最後に本日の特別決議が用意されていることにより閉会の挨拶と特別決議に関する趣旨の説明が向井地組合長よりなされました。

まず、議長を務めて頂いた重松議長、来賓の方々にお礼を述べ、提案の議案全て満場一致での承認に対しても組合員にお礼を述べた後、現在の赤字部門である授精部門とAコープ合わせて5千万円となるが、出資増口しても追いつかない状況ですが地域を守るのが農協であり、一般企業では不採算部門となれば撤退を余儀なくされる。

ついでには、組合員皆様の理解出来る範囲内で継続していく所存ですので今暫く理解頂きたい。今回の支所の閉鎖に伴いATMをAコープに設置し集客につなげて行ければと思っています。

現状、新規参入もある中、労働力不足が大きな課題となっています。技能実習生制度が3年後は「育成就労」制度に変わりますが、1年以上勤めれば転籍が出来るようになり、より待遇の良い所へ行けるため、中々労働力不足の解消には厳しい状況となると思いますが、田舎から都会へ人材が流れてしまい食料安全保障からは全く矛盾していると思っています。

北海道は、200%の食料自給率で法律を変更してまで政府は取り組んでいるが、今の北海道は工業地帯に変わりつつあり、風力発電、ソーラーパネルが続々と作られている現状で我々農業者は農地を守ることの使命が必要と考えます。

それから、本日の特別決議の趣旨を向井地組合長から説明された。

時間の都合上既にこの会場でポスター掲示しましたが、来年7月に行われる参議院通常選挙において全国比例区から出馬を決めている北海道からの候補者「東野ひでき」氏について、候補決定前の予備投票において、千葉県からの候補と一騎打ちの戦いとなり、私自身北海道農政連会長として全国行脚し、東野候補の出馬の意義等を説明して参りました結果、北海道の結束力によって見事勝利し正式に候補者となりました。この予備投票は都市型農協の関東周辺地域と、何としても一次産業を守るしなければならぬ北海道、九州、東北、北陸の戦いでしたが、純粋な農業生産を上げている農協に軍配が上がった結果となりました。

ついでには、この国政選挙において、農業団体の声を届けるためにも、多くの票が必要であり自分たちの生活、農業、農地を守るためにも協力をお願いを申し上げます。



スムーズな進行で議長を務めて頂きました



閉会挨拶と特別決議の趣旨を詳細に伝えた向井地組合長



ビデオメッセージにより決意を述べた「東野ひでき」氏

このあと、青年部高橋部長と女性部山崎部長から特別決議文を読み上げるので盛大なる拍手を以って決議して頂きたく重ねてよろしくお願いします。と趣旨説明され両部長より決議文が読みあげられ盛大な拍手により決議され、第15回通常総会の閉会が宣言された。

特別決議を読み上げる高橋部長と山崎部長



信連旭川姉崎支所長より激励状が手渡された奥「佐々木」氏 手前「辻野」氏



各団体総会開催



(株)アグリサポート枝幸では、4月17日第14期定時株主総会がJA宗谷南会議室にて開催された。株主総数11名に対し11名（委任状含む）が出席された。決議事項1号から5号議案まで満場意義無く承認された。向井地社長は、ファームAYNIについては、厳しい状況となっているが、何とか打開していきますのでもう少し時間を頂きたいと株主に説明しました。



宗谷南乳牛検定組合では、4月25日第13回定期総会が振興センターにて開催された。組合員57名本人14名、委任状28名合わせて42名の出席となりました。議長には、歌登地区の菅原一人氏が選出され議案第1号から第3号まで上程され全ての議案が満場一致で賛成された。



宗谷南酪農ヘルパー利用組合では、4月25日第14回定期総会が振興センターにて開催された。組合員数86名、12名の組合員が出席された。議長には、風烈布地区の佐藤良介氏が選出され議案第1号から第3号まで上程された中で質問が3点ほど出ましたが真壁組合長より回答され全ての議案が満場一致により賛成された。



宗谷南乳質改善協議会では、5月20日第16回代議員総会がJA宗谷南会議室にて開催された。代議員10名のうち8名の代議員が出席された。議長には向井地会長が就き、議案第1号から7号まで慎重審議され反則金処分については昨年同様の基準で返戻することで承認された。厳しい酪農情勢は一時より日差しが見えて来ましたので、乗り越えて頑張りましょうと締めました。



中山間枝幸集落全体会議



中山間枝幸集落では、5月27日振興センターで全体会議が行われた。当日協定参加者94名のうち本人出席14名、書面議決53名により過半数以上の出席により開始された。下山代表の挨拶の後、議案第1号から3号まで慎重審議され質疑を受けた後承認された。なお、事業計画の中で、アライグマを対象として、有害鳥獣捕獲報奨金規約を制定（5月27日付）し、1頭500円の報奨金を支払う規約が制定された。下山代表閉会挨拶では、第5期については、今年が最後の年となるので、皆さんの協力により計画が達成されるように頑張りましょうと締めました。



巡回ドック検診

早期発見!!

4月10日～12日の3日間、旭川厚生病院による巡回ドック検診が今年も行われました。

今回の受診者は、組合員・職員合わせて207名が受診されました。検診結果はすでにお手元送到られて来ていると思いますが、「要精密検査」となっている方で、まだ未受診の方は、早急に受診されますようお願いいたします。

病気の早期発見は非常に重要な事ですので精密検査の対象の方、最近調子が思わしくないと感じている方は、病院の受診を勧奨致します。

なお、厚生病院の人間ドックを希望される場合は、管理課までご連絡下さい。



春の廃プラ回収

4月22日と24日の両日、廃プラの回収作業が行われました。

今回の回収では、約82トンが回収されました。

この廃プラは、(株)小牧清掃社と契約を提携しており、そこへ運ばれて固形燃料等に生まれ変わりリサイクルされています。

廃プラを適正に処理されれば、リサイクルとして可能な資源となり「SDGs」となりますので不適正な物が混入しないようにご協力をお願いします。なお、今秋も廃プラ回収を行う予定をしていますので、フレコンバックから中身がはみ出さない要しっかりと開口部を結んでスプレーで氏名を記入し搬入願います。

2024年 道北ブラック&ホワイトショウ



吉田審査員

5月11日、豊富町ホクレン地域家畜市場で2024年道北ブラック&ホワイトショウが開催されました。審査員にはシエネティクス北海道より「吉田潤嗣」氏をお迎えしての開催となりエントリー数は、123頭でしたが当日は、宗谷地区、留萌地区合わせて75頭の出品となりました。当地区からは、4戸の組合員が7頭出品し、うち2頭が上位3位の成績を収められました。おめでとうございます。どの乳牛も甲乙付け難い審査となったようです。

厳正なる審査の結果、グランドチャンピオンには、第12部、稚内市の白崎絃希さん出品の「スカイハイバイウエイハンナET」が選ばれ、リザーブグランドチャンピオンには、第9部、遠別町の佐久間陽生さん出品の「レッドブリックプレス アリゲーターアグリ」が選ばれました。

部	名号	順位	出品者
1	ポールスター バロン ハズイットオール	8位	高橋 慶大
1	ウチ アメイジング エリザベス リルリー	7位	内田 喜久男
2	オムラ ARK スイート ハマー	5位	小椋 義則
5	オムラ エントリー ジャガー ET	4位	小椋 義則
7	ウチ エポエポ AKB エリゾベス	5位	関口 真也
7	オムラ ハンフォード ダイアン	3位	小椋 義則
10	オムラ サンキュー ベリー フタゴ	3位	小椋 義則



枝幸町家畜自衛防疫組合研修会

5月17日 枝幸町コミュニティセンターにて家畜自衛防疫組合主催による研修会が開催されました。

当日、講師に宗谷家畜保健所の「三浦専門員」、宗谷農業改良普及センターの「塩地域係長」、明治アニマルヘルスより「上野晃平」氏、地元枝幸町より農林課「加藤副主幹」の4氏により「牛サルモネラ症など家畜伝染病の予防と組合員の家畜防疫に関する知識向上を目的として」研修会を企画し実施されました。

受講者は、組合員40名と関係機関団体で13名と合わせて53名の受講となりました。

昨年は、サルモネラ症が多く発症したこともあり、夫婦、親子での参加も見受けられ関心度の高さが伺われました。質疑では活発な質問が出され、盛会裏に研修会が終了致しました。



講師の皆様



聴講の様子



質問の様子

JA青年部主催合同勉強会

5月20日 酪農振興センターにおいて、青年部と4Hクラブの部員同士の合同勉強会を初めて企画し開催されました。

ともに目指している所は、同じであることからの企画であり、昨今の酪農情勢も共通の話題として共有出来ることもあるとして両会長の思惑が一致し、開催の運びとなりました。

参加者は青年部6名、4Hクラブ4名合わせ10名の出席で勉強会の内容は、「青年部の必要性とは」北海道青年部連絡協議会の池田副会長から講話、「酪農情勢・乳価計算について」はホクレン稚内支所の酪農課山田課長、「生乳生産動向について」を中央会稚内連絡事務所の田中調査役からの講話と途中昼食時は交流会と題してオードブルを囲んで酪農談議に盛り上がりました。

他に中央会の田中調査役からは、来夏の参議院選挙における「みんなで学ぼう農政活動」と題して活動の必要性の話が行われました。今後機会をつくりこの企画を続けて参りたいと最後締められました。



高橋会長挨拶



池田副会長



山田課長



田中調査役



交流会風景

第2回理事会 開催月日令和6年4月9日



【決議事項】

1. 規約の一部変更について
2. 任意積立金(経営・金融基盤強化積立金)の変更について
3. 出資配当及び事業分量配当の基準の決定について
4. 役員選任の実施について
5. 総合農協監督指針の改正に伴う「3つの方針」への対応について
6. 雌雄判別精液を利用した雌子牛増頭事業の取り下げについて

【報告事項】

1. 令和6年度クミカン取引に対する保証および理事の保証について

第3回理事会 開催月日令和6年4月22日

【決議事項】

1. 税効果積立金の取崩しについて
2. 決算関係書類及び部門別損益計算書及び事業別明細について
3. 賦課金の賦課及び徴収方法について
4. 役員報酬の支給について
5. 退任役員に対する役員退職慰労金の支給について
6. 労働保険事務組合の令和5年度徴収・納付状況について
8. 第15回通常総会の招集及び議案並びに総会参考書類について
9. 総会議決権行使書面の取扱いについて

【監査関連報告事項】

1. 決算監事監査報告について
2. 内部監査報告について

【報告事項】

1. 総会時におけるの激励状・目録の贈呈について
2. 組合員の異動状況について
3. 令和5年度クミカン精算について
4. 3月末クミカン実績対比について
5. 大口(3千万円超)信用供与先の経営状況について
6. 令和5年度自己資本比率の算出結果について
7. 令和5年度貸出条件緩和債権の判定結果について
8. (株)アグリサポート枝幸決算及び剰余金処分報告について
9. (株)アグリサポート枝幸取締役及び監査役の選任就任報告について
10. 3月末各部署取扱高及び実績報告について
11. 貸付金実行報告について

JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

第1回 「東野秀樹」氏が組織代表に決定

全国のJAグループの農政組織である全国農政連では、現在JAグループ代表として現職である参議院議員「山田としお」氏が任期満了で退任することを受け、来年夏の参議院選挙に向けて、引き続きJAグループの候補者を擁立することとなりました。

これを受け、北海道のJAグループで組織する北海道農協政治連盟では、本道農業・JAを取り巻く環境が厳しさを増す中、「北海道から農民代表を国政に送るべき」との強い意見を踏まえ、現在ホクレン代表監事で、JA道北なよろ会長である「東野ひでき」氏を、全国JAグループの推薦候補者とすべく、擁立した経過にあります。

全国段階では、千葉県からも1名の立候補があったため、組織内で予備投票を行った結果、東野ひでき氏が全国のJAグループの組織内候補として決定いたしました。

今後、全国のJAグループの代表として活動いただくために、地元北海道として支援の輪を広げてまいりましょう。



東野ひでき
公式サイト
の閲覧はこちら

【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年夏頃まで連載いたします。

次回(第2回)は、東野ひでき氏の主張や人柄について紹介します。



東野ひでき北海道後援会

JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

第2回 東野ひでき氏の主張と人柄紹介

我が国の農業・地域社会を取り巻く環境は大きな転換期を迎えております。

超高齢化社会の到来による人口の減少や、国際情勢の不安定化、地球温暖化による気候変動、環境問題への関心の高まり等のなか、食料・農業・農村基本法が四半世紀ぶりに改正されました。

生産現場においては、担い手や農地面積の減少による生産基盤の脆弱化、肥料・飼料・燃油など生産資材の高騰等により、今なお先が見えない不安が広がっております。

今こそ、農業者やJA役職員さらには地域住民が将来にわたり希望の持てる食料・農業・農村政策の確立が不可欠であると考えます。

今後、皆様のごとこにできるだけ多く足を運び、真摯に皆様の声に耳を傾け、より理解を深め、生産現場の思い、JAグループのその声を国政に届けなくてはならない、その使命感に今みち溢れております。また、努力を惜しまない覚悟であります。

専業農家、JA組合長としての経験を生かし、『農業者・JAとともに、まっすぐな農政!』を合言葉に、農業者および地域が夢や希望を叶えることができるよう、全力で取り組んでまいりますので、皆様方のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

■プロフィール

昭和46年11月、名寄市生まれ。
名寄高校、拓殖大学北海道短期大学(農業経済科)卒業後、稲作農家の5代目として就農。
平成15年 風連町農協 青年部長、
平成21年 JA道北なよろ 理事、
平成27年 JA道北なよろ 代表理事専務、
平成29年 JA道北なよろ 代表理事組合長、
令和3年 北海道厚生農業協同組合連合会 理事、
令和5年 JA道北なよろ 会長理事、ホクレン農業協同組合連合会 代表監事

■家族構成

両親、妻、息子夫婦、孫3人の9人家族

■経営概況

稲作(もち米)17ha、小麦2ha、アスパラガス、寒締めほうれん草、スイートコーン、切り花、薬用作物

■座右の銘

置かれた場所で咲く



東野ひでき
公式サイト
の
閲覧はこちらから



【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年夏頃まで連載いたします。次回(第3回)は、東野ひでき北海道後援会の取組みについて紹介します。

JAの存在意義を考えるシリーズ 第2回 「農村の医療の 始まり」

大正から昭和初期の本道農村は、ほとんどが無村医か医療希薄地域であった。この解消が農民の悲願であったが、自由開業医は経済的に貧困な農村ではなく、都市に集中する傾向が強かった。

1919(大正8)年、島根県青原村の産業組合が初めて診療所を開設、医療事業の兼業を始めた。その後この動きは各地に広まったが、経営は困窮していた。

1928(昭和3)年、青森市周辺で広区域医療組合が設立され診療所を開設し、区域を拡大しながら総合病院に成長するに至っている。

1932(昭和7)年の”救農国会”において農村の医療組合設立等の許可権限が農林大臣となり産業組合の連合組織により医療事業の運営が行われるようになった。

北海道においては、北紋地区14町村の産業組合により**1938(昭和13)年**に北紋医療利用連合会が設立されるとともに「久美愛病院」を開設した。また、上川地区では、産青連(産業組合青年連盟)が医療聯設立運動を展開し、**1941(昭和16)年**に旭川保健病院が開院した。その後斜網医聯が設立されている。

この3医聯は、**1942(昭和17)年**に「北聯」と合併し北聯厚生部となった。これが現在のJA北海道厚生連の母体である。**同年**、倶知安町立病院が経営移譲し、倶知安厚生病院が開設された。

考えるシリーズは6回連載します



事務所1階ホールに満開の桜
5月13日撮影



枝幸町公共育成牧場
一斉入牧開始



5月29日に枝幸町公共育成牧場で一斉入牧が行われ、町内の若手酪農家、町職員、アグリサポート職員、JA職員等で作業に当たり入牧頭数**157頭**が預託されました。またこの入牧前の**27日**にはこの牧場で舎飼飼育されていた**347頭**が先に牧場に移動され合わせて**504頭**が広々とした放牧場へと放たれ、ストレスもない状態で飼育され、秋には妊娠牛となり**100**キロほど体重増加となった乳牛が、自分の牛舎へ戻り元気な仔牛を生んで、iR山の牛乳を出荷してくれることを今から祈ってます。お手伝いされた皆様、大変お疲れさまでした！



コンプライアンス研修会終了

2月21日、当組合会議室において、令和5年度のコンプライアンス・プログラム実践のための上記研修会を開催しました。この研修会は毎年テーマを決めて行っており、今回のテーマはコンプライアンスの概要として今までの再確認と、パワーハラスメント防止に向けた取組と2つのテーマで、中央会よりDVDを借り当日の受講を3回に分け、最初は管理職に対して、2、3回目は受講の時間帯を調整し行いました。3回合計で64名の受講、83%の出席率となりました。

昨今、不祥事の多発、多彩なハラスメントなど受ける方がハラスメントと言えばそうになってしまう時代であることから両テーマについて再認識となった研修会でした。



ご愛読者の皆様へ 新聞購読料 改定のお知らせ

新聞用紙、制作費の高騰により、読者の皆さまには大変心苦しい限りですが、令和6年8月1日から月額購読料を改定させていただきます。今後もより一層、読者の皆さまにご満足いただける紙面をお届けします。

日本農業新聞

対象サービス	改定前	改定後(8月以降)
紙版	2,520円	➡ 2,980円
紙版・電子版 併読	3,620円	➡ 4,080円
電子版	料金据え置き	2,403円

※全て月額、税込込み。



牧草収穫作業風景(6月28日撮影)

撮影者:新人「鳥谷部営農係」

金融店舗よりお知らせ

当組合より年金お受け取りの皆様へ、いつもありがとうございます。お受け取りの方には左記のハガキが届いている事と存じます。



今月末まで、「招福ようかん」がプレゼントされますので、金融窓口でこのハガキを持参しお受け取り下さい。

なお、**Aコープ歌登店**でもお受け取り出来ますので、お買い物と一緒にプレゼントもお受け取り下さい。